

令和7年4月22日
経営情報学部教務委員会
医療情報学部教務委員会
情報メディア学部教務委員会

1. 自己点検・評価について

文部科学省「数理・データサイエンス・AI 教育プログラム認定制度（応用基礎レベル）」の審査項目の観点による評価を行う。

2. 自己点検・評価結果について

3項(1)～(9)に記載のとおり、すべての項目において、現状では改善すべき点はなく、問題ないと評価する。ただし、1年次配当科目である「情報の世界」、「線形代数Ⅰ」、「微分積分（Ⅰを含む）」に対する評価であり、2年次以降に対象科目が増えるため、引き続き授業評価アンケート等において情報収集を行うとともに、履修者拡大に向け、教員・学生への周知を継続して実施する。

3. 自己点検・評価体制における意見・結果・改善に向けた取組等

(1) プログラムの履修・修得状況

令和6年度から開始した本プログラムを構成する科目のうち、1年次配当科目のいずれかを履修した人数は全学部履修対象学生393名に対して、354名（約90%）となった。履修状況はおおむね良好である。

これは、スタートアップの履修登録時に履修対象者へ科目内容等を丁寧に説明したことで数理・データサイエンス・AIの重要性が伝わった結果と考える。

ただし、1年次配当科目のすべてを履修している学生は27名（約7%）にとどまっており、2年次以降に本プログラムの構成するその他の1年次配当科目の履修を促す必要があるため、引き続き、プログラムの内容・目的について、スタートアッププログラム等を通して説明し、履修者数拡大を計画する。

(2) 学修成果

本プログラムは令和6年度から開始しており、現状ではプログラム全体の学修成果を評価することはできないため、1年次配当科目である「情報の世界」、「線形代数Ⅰ」、「微分積分（Ⅰを含む）」について評価する。以下のとおり、およそ半数程度が優以上の成績で修得していることに加え、いずれも90%以上が単位を修得しており、学修成果については問題ないと評価する。

- ① 情報の世界：履修者 322 名
 秀：207 名，優：65 名，良：26 名，可：15 名，不可及び未取得：9 名
 優以上の割合：84.5%
 単位修得率：96.9%
- ② 線形代数 I：履修者 30 名
 秀：9 名，優：2 名，良：6 名，可：10 名，不可及び未取得：3 名
 優以上の割合：36.7%
 単位修得率：90.0%
- ③ 微分積分（I を含む）：履修者 95 名
 秀：20 名，優：37 名，良：20 名，可：15 名，不可及び未取得：3 名
 優以上の割合：60.0%
 単位修得率：96.8%

(3) 学生アンケート等を通じた学生の内容の理解度

1 年次配当科目である「線形代数 I」，「微分積分（I を含む）」について，授業評価アンケートの設問 5「この授業で，目標としていた知識や技能を獲得できたと思いますか」についての回答結果を基に評価を行う。なお，「情報の世界」については，本設問は含まれないため対象外とする。

以下のとおり，各科目のアンケート回答者の 80%以上が，知識や技能を獲得できたと回答している。また，「情報の世界」についても，履修者の 84.5%が優以上の成績で修得しており，理解度については問題ないと評価する。

①線形代数 I：回答率 100%	②微分積分（I を含む）：回答率 56%
とてもそう思う：58%	とてもそう思う：25%
ある程度そう思う：42%	ある程度そう思う：59%
あまりそう思わない：0%	あまりそう思わない：13%
全くそう思わない：0%	全くそう思わない：4%

(4) 学生アンケート等を通じた後輩等他の学生への推奨度

1 年次配当科目である「情報の世界」，「線形代数 I」，「微分積分（I を含む）」について，授業評価アンケートの設問 13「この授業で見られた学習意欲や興味を促す工夫，この授業の改善すべき点，その他特筆する点があれば記述してください」についての回答結果を基に評価を行う。

以下「①よかった点」のとおり，各科目について，後輩等他の学生への推奨度と

しては、かなり高いと判断する。なお、本アンケートについては、学生・教員へ公開されており、学生については今後の履修の参考とすることができ、教員については、「②改善すべき点」について、さらに分かりやすい授業とするための対策を講じることができ、体制的にも問題ないと評価する。

① 良かった点

(ア)情報の世界

- 結構楽しい授業だった
- 先生が3講義で交代するため、いろいろな話が聞けたので良かったです。
- 授業の進行など先生によって個性が出ていて、動画をみたり Web サイトを開いて実習があったりと楽しく最後まで受けることができました。
- 講師が5人でそれぞれ違った内容を教えてくれるというなかなかない授業スタイルだったが、普通の授業では知ることのできない分野まで学べて面白かった。

(イ)線形代数 I

- 資料がわかりやすかったです

(ウ)微分積分 (I を含む)

- geogebra を使ってやるのがよかった
- GeoGebra を使うことで関数の変化や仕組み、複雑な関数に対して視覚的理解が深まるのが非常に良いと思いました。
- 黒板に書いている解説がわかりやすく楽しかった
- PC を使って図形からも理解させようとしていたこと
- 指示が少なかった点
- 数学が分からない自分でも、とても分かりやすく説明してくれてすごく良い授業だと思いました。
- 実際に手を動かして計算する時間が多くあってよかった。
- わかりにくいところは全て説明してくれたので理解できました。また、その説明もすごくわかりやすかった。

② 改善すべき点

(ア)情報の世界

- なし

(イ)線形代数 I

- 進むスピードが少々早く感じました

(ウ)微分積分 (I を含む)

- スライドなどを作る時間的余裕がなかったのかもしれませんが、あると事後学修などもしやすく、知識定着につながると思います。黑板への板書も途中は辛そうに見えたので...
- 演習を増やしてほしい

(5) 全学的な履修者数、履修率向上に向けた計画の達成・進捗状況

令和6年度から開始した本プログラムを構成する科目のうち、1年次配当科目のいずれかを履修した人数は全学部履修対象学生 393 名に対して、354 名（約 90%）となった。履修状況はおおむね良好である。

これは、スタートアップの履修登録時に履修対象者へ科目内容等を丁寧に説明したことで数理・データサイエンス・AI の重要性が伝わった結果と考える。

ただし、1年次配当科目のすべてを履修している学生は27名（約7%）にとどまっており、2年次以降に本プログラムの構成する科目の履修を促す必要があるため、引き続き、プログラムの内容・目的を説明し、履修者数拡大を計画する

(6) 教育プログラム修了者の進路、活躍状況、企業等の評価

本プログラムは令和6年度から開講しており、配当年次が異なるため、修了者はまだいない状況である。このことから修了者の進路・活躍状況等に関する情報は整っていないため、未評価とする。履修者卒業後については就職課と協力しながら状況把握を行う。

(7) 産業界からの視点を含めた教育プログラム内容・手法等への意見

現時点では、意見収集を実施していない。今後、本学に関係のある外部アドバイザー企業にアンケートに手情報収集を実施する。

(8) 数理・データサイエンス・AI を「学ぶ楽しさ」「学ぶことの意義」を理解させること

本プログラムは令和6年度から開講しており、配当年次が異なるため、1年次配当科目である「情報の世界」、「線形代数 I」、「微分積分 (I を含む)」について評価を行う。また、「学ぶ楽しさ」については、「(4) 学生アンケート等を通じた後輩等他の学生への推奨度」に記載の授業評価アンケート結果を基に、「学ぶことの意義」については、シラバスを基に評価を行う。

「学ぶ楽しさ」について、「①よかった点」に記載のとおり、「楽しい」、「面白い」、

「良い授業」といった評価が多くみられ、学生は「学ぶ楽しさ」を理解していると判断できる。

「学ぶことの意義」について、シラバスに「学習の到達目標」を明確に示すとともに、各科目の授業において、教員から改めて到達目標について示すことで、学生へ「学ぶことの意義」を理解させることができていると判断する。

以上の内容から、本項に関して、問題ないと評価する。

(9) **内容・水準を維持・向上しつつ、より「分かりやすい」授業とすること**

本プログラムは令和6年度から開講しており、配当年次が異なるため、1年次配当科目である「情報の世界」、「線形代数Ⅰ」、「微分積分（Ⅰを含む）」について「(4) 学生アンケート等を通じた後輩等他の学生への推奨度」に記載の授業評価アンケート結果を基に評価を行う。

「①よかった点」に記載のとおり、「線形代数Ⅰ」、「微分積分（Ⅰを含む）」において、「分かりやすい」とった評価が多くみられた。また、「情報の世界」については、直接「分かりやすい」という評価はなかったものの、優以上の成績の割合、単位修得率からみても「分かりやすい」授業であったと判断する。

以上の内容から、1年次配当科目については、「分かりやすい」授業であり、問題ないと評価する。

2年次以降の配当科目について、同様に授業評価アンケートにおいて、意見収集及び評価を行う。

以上